

## KINGCA WEEK 2022、Master Class に参加して

名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学  
野々垣彰

この度、日本胃癌学会から KINGCA 参加助成をいただき、KINGCA WEEK 2022 と Master Class に参加することが出来ました。

未だ収束の見通しが見つからない新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、海外に行くことですらハードルが高い中、このような機会を与えていただきました日本胃癌学会や Ajou University Hospital の関係の方々に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

私は、8月28日から9月4日まで韓国に滞在して、8月29日から31日に Master Class で Ajou University Hospital を見学させていただき、9月1日から3日まで KINGCA WEEK 2022 に参加しました。

Ajou University Hospital では、スタッフの皆様に手厚く、心温まる歓迎をしていただき、手術見学や、病院見学ができました。手術見学では、単項+1の腹腔鏡下幽門側胃切除術など、普段はなかなか見ることができない手術を見ることができ、短い間でしたが、素晴らしい経験であったと思います。

また、個人的に特に印象深かったことは、現地の学生含めた、若手のドクターも英語を当たり前の様に話していたことと、現地の医療の仕組みについても触れることができたことです。

現地の医学生とも話す機会があり、英語を迷わず話していた点はすごく刺激を受けました。

医療の仕組みで、日本とは大きく異なることは、胃癌に関しての言及にはなりますが、大きな医療機関に集約して、治療を行っていくことが徹底していた点です。

KINGCA WEEK 2022 の参加では、現地で口頭で発表することができました。普段活用することの無い英語での発表は緊張しました。また、世界中の、胃癌の権威のあるドクターとお会いして、お話する機会もいただき、非常に貴重な経験となりました。

今回の経験を通して、今後も海外学会参加を続けていきたいと思いましたが、日々の臨床に少しでも活用できる様精進していきたいと思いましたが、また、今後多くの方々が KINGCA WEEK 2022 に参加することを願っています。

最後にはなりますが、このような機会を与えていただきました日本胃癌学会の掛地吉弘理事長、国際委員会の竹内裕也委員長をはじめとした委員の皆様、この度は誠にありがとうございました。



Ajou University Hospital での写真



KINGCA WEEK 2022 の発表の一コマ